



学校だより

あいかわ

鈴鹿市立合川小学校

No. 12

令和4年9月30日

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果及び結果を踏まえた取組

令和4年度の全国学力・学習状況調査（6年生で実施）の結果及び結果を踏まえた取組についてお知らせします。

教科に関する調査

※ 県及び全国との比較 ○：上回る ー：同等 △：下回る

今年度も、教科を問わず、無回答率の割合が非常に低く、最後まで粘り強く取り組むことができた本校児童の特徴がはっきりと結果に表れました。教科別に見ると、国語と理科は、県及び全国を上回る或いは同等、算数は県及び全国と同等或いは下回る結果となりました。現在、各学年で、さらに高めたい学習や、課題があると考えられる学習を重点学習と位置づけ取組を進めています。

へいきんせいとうりつ 平均正答率	けん 県	ぜんこく 全国
こくご 国語	○	○
さんすう 算数	△	△
りか 理科	○	○

ちゅうおうち 中央値	けん 県	ぜんこく 全国
こくご 国語	ー	ー
さんすう 算数	ー	△
りか 理科	○	○

国語

けん
県

ぜんこく
全国

ことば とくちよう
言葉の特徴
つか かた
や使い方に
かん じこう
関する事項
わ くに
我が国の
げんごぶんか
言語文化に
かん じこう
関する事項
はな
話すこと・
き
聞くこと
か
書くこと
よ
読むこと

○ ○
○ ○
○ ○
○ ○
○ ー

県及び全国の平均正答率を上回った問題

調査では、特に、言葉の特徴や使い方に関する事項で出題された、「話し言葉と書き言葉との違いを理解する」問題と、話すこと・聞くことで出題された「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」問題で、県及び全国の平均正答率を大きく上回りました。これは、昨年度から、全学年で国語を中心に、伝え合う力の育成に取り組んでいる成果と考えます。各学年でつべき力が確実に身につくよう、引き続き取組を継続していきます。

調査結果を踏まえた取組

国語は、全領域で平均正答率が県及び全国と同等以上の結果となりました。現在、国語においては、さらに、読む力の向上を図るため、物語を読む際に複数の叙述を基に行動や気持ちを捉えたり、考えられることをノートやワークシートにまとめたりする学習に重点を置いて取り組んでいます。そして、10月からは、新たな取組として、朝学習の時間に、「読む・書くワークシート(市教委提供)」を始めます。

さん 算 数	けん 県	ぜん 全国
かず 数と計算	—	—
ず 図形	△	△
へん 変化と関係	○	○
で データの活用	△	△

調査結果を踏まえた取組

調査結果から、特に、図形の問題に課題があると考え、図形の意味や性質について理解を深める学習を充実させたり、コンピュータを用いた作図の機会を増やしたりしています。また、データの活用については、データを収集、分類整理したり、データの特徴や傾向に着目して考察したりする学習に重点を置いて取り組んでいます。

り 理 科	けん 県	ぜん 全国
え エネルギー	○	○
り 粒子	○	○
せい 生命	○	○
ち 地球	○	○

調査結果を踏まえた取組

地球の領域において、「観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつ」問題が県及び全国を下回りました。課題克服に向け、結果などから必要な数量や変化の大きさなどの特徴を見つけ、自分の考えをまとめたり伝え合ったりする学習に重点を置いて取り組んでいます。

児童質問紙調査

県及び全国より肯定的回答が多かった主な質問項目

- ・将来の夢や目標を持っていますか。
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師、インターネットの活用も含む）【1時間以上】
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）【10分以上】

県及び全国より肯定的回答が少なかった主な質問項目

- ・自分には、よいところがあると思いますか。
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。

今後に向けて

- ・学校と家庭の連携により、家庭学習及び読書習慣が定着しつつあります。引き続き、日々の取組と、家庭学習強化週間や図書まつりなどの取組を継続します。
- ・児童が、学校内外を問わず、自身の成長をより実感できるよう活動を工夫します。
- ・withコロナにおける学校と地域が連携した学習の機会を充実させます。

県及び全国の平均正答率を上回った問題

調査では、特に、数と計算で出題された「二つの数の最小公倍数を求める」問題と、変化と関係で出題された「百分率で表された割合と基準量から、比較量を求める」問題で、県及び全国の平均正答率を大きく上回りました。

県及び全国の平均正答率を上回った問題

前回（平成30年度）の調査では、生命の問題が県及び全国を下回り、地球の問題が県及び全国と同等でしたが、今回の調査では、領域別に見ると、全領域で県及び全国を上回りました。（問題別に見ると、県及び全国を下回った問題がありました。）

他にも肯定的回答が多かった質問項目があります。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地域の行事等に参加する機会が減っていることも要因と考えます。